

観光果樹園等における新型コロナウイルス感染拡大予防の取り組み例について

さくらんぼの収穫期が近づき、お客様向けのもぎとりも本格化する時期となります。新型コロナウイルス感染症から果樹園利用者や従業員の皆さんの健康を守るため、対策を徹底しましょう。

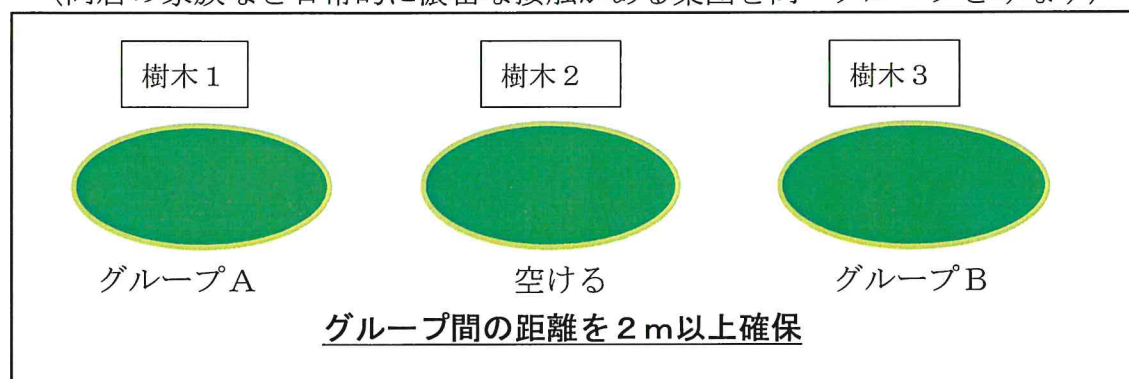
＜取り組み例＞

○3密（密接、密集、密閉）の防止

- ・入園人数の制限
- ・受付、レジ等の間隔の確保
- ・休憩所やハウス等の定期的な換気など

○異なるグループ間のもぎとり樹木の距離を十分確保する

（同居の家族など日常的に濃密な接触がある集団を同一グループとみなす）



○来園者、従業員のマスクの着用（熱中症に十分注意する）

○手洗い及び手指消毒の徹底

○来園者の名前・連絡先の記入

○果実に複数名が触らないよう注意する

→ 一度触ったらもぎとるよう促す。

○種や軸などの残りものはビニール袋に入れて密閉して処分

○不特定多数の人が触れる物品・設備等はこまめに消毒する

※取り組み例は山形県農林水産部で発行している「観光農園における新型コロナウイルス感染拡大を予防するための工夫（例）」を参照しています。詳細は県ホームページをご覧ください。

《問合せ》

天童市農林課農業振興係 TEL654-1111（内線214）